

## 三原の仏像展を 開催しています

市内に所蔵されている仏像を一堂に集めた「瀬戸内の十字路 三原の仏像展」を13日まで、リージョンプラザ展示ホールで開催しています。近年、文化遺産として注目されている仏像にテーマを絞った見応えのある展示内容に、先月4日の開会以来、多くの人が詰め掛けています。



▲仏像に焦点を当てた展示内容に関心が集まっています

市は昔から、陸路と海路が交わる交通の要衝として栄え、豊かな宗教文化が育まれてきました。展示会では、そうした地域特性をもつ旧三原市、本郷町、久井町、大和町に伝わる古代から中世までの仏像など44点を紹介しています。

中でも、大和町の棲真寺に所蔵されている阿弥陀如来坐像(市指定重要文

化財)は、鎌倉前期の精緻な彫刻が特徴で、来場者の注目を集めています。

開館時間は10時～18時。5日(日)13時30分からは、学芸員の解説を聞きながら鑑賞できるギャラリートークを開催します。

入場料は800円、大学生500円、高校生以下と障害のある人は無料です。

### ☎文化課

☎0848・64・9234

## 今月18日に 事業レビューを実施

市のまちづくりに関する施策などを検討するまちづくり戦略検討会議は、市の主要な施策について、外部からの視点を活用しながら、事業の内容や効果を点検する事業レビューの対象となる施策を決めました。今月18日にレビューを実施します。市民も傍聴することができます。

レビューの対象となるのは、長期総合計画の後期基本計画に掲げる①子育て支援の充実②小・中学校教育の充実③工業の振興④高齢社会対策の推進⑤中心市街地の活性化⑥生活交通の維持・確保⑦医療体制の充実⑧幼児教育の充実⑨生涯スポーツの推進⑩市民が参加・参画しやすい仕組みづくり、の10施策です。



▲事業レビューでは市の主要施策が点検されます

委員5人と県職員1人で班を構成し、2班体制で点検します。結果は、来年度以降の事業計画や予算編成の参考にします。

事業レビューが傍聴できます  
とき 18日(土)9時30分～18時  
ところ ゆめきやりあセンター(館町二丁目)

### ☎政策企画課

☎0848・67・6011

## 市庁舎整備検討委が 意見書を提出

市庁舎整備の基本方針などを検討する三原市庁舎整備検討委員会(委員長 小野武也 県立広島大教授・11人)は、「合併特例債を活用して早急に建て替え、防災拠点機能の確保を図ることが望ましい」という意見書をまとめ、8月28

日、天満市長へ提出しました。

同委員会は、5月に市長からの依頼を受け、4回の検討を重ねてきました。

意見書では、「本庁舎と議会棟は震度6強の地震で倒壊の危険性が高く、庁舎整備は急を要する。現庁舎は庁舎の分散や駐車場不足などの課題もある。市政への影響を最小限にとどめる必要から、庁舎整備には合併特例債を活用すべき」と結論付けました。

また、「合併特例債の期限を考えると現地での建て替えが現実的。将来を見越して可変性のある庁舎を」などの意見が添えられました。

市は、意見書と市議会の庁舎整備調査特別委員会での審議結果を踏まえ、年内に整備方針を決めていきます。



▲市庁舎整備についての意見書が市長に手渡されました

### ☎総務課

☎0848・67・6022